

市町村名 嘉手納町

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-	観光史跡説明板整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ
担当部課名	教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度	平成24～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				圏域の特色を生かした産業の振興
				-1-(1)

事業内容 地域資源・文化資源を活用した観光振興を図るため、観光基盤の強化に向けて、町内に点在する史跡・旧跡に説明板を設置する。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	24年度繰越	25年度	26年度	27年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	13,240	0	3,000		
	(b)予算現額	13,020	0	2,835		
	(c)増減額(b-a)	220	0	0		
	(d)繰越額	-	13,020			
	A.計(b+d)	13,020	13,020	2,835		
	B.執行済額	0	13,020	2,835		
	うち交付金充当額	0	9,930	2,268		
	次年度繰越額	13,020				
	執行率(%) (B/A)	0.0%	100.0%	100.0%		
	予算の状況の説明	・事業計画どおり執行を行った。 ・不要額が220千円発生しているが、入札残によるものである。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
	観光史跡等説明板の設置	目標 (9箇所)	(2箇所)	()	()
	実績	9箇所	2箇所		
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	目標としていた設置箇所すべてに設置を完了することができた。 説明板を設置したことにより、町内外の方へ嘉手納町の史跡等について、周知することができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		観光史跡等説明板の設置	目標 ()	(9箇所)	(2箇所)	()
		実績		9箇所	2箇所	
	(参考指標)	目標	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	目標としていた設置箇所すべてに設置を完了することができたことにより、国内外観光客への情報発信を強化し、観光客誘客促進を図ることができた。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・目標とする設置箇所すべてに設置を完了することができた。 ・地権者から承諾を得ることや設置場所の調整に時間がかかる。 ・当初予定していた史跡が軍用地内にあるため許可を得ることが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標とする設置箇所すべてに設置を完了することができた。 ・説明板設置箇所を広く検討し、地権者の承諾を得られる箇所から着手することにより、事業を円滑に進めることができる。
今後の取り組み方針		
<p>・町指定文化財以外の史跡についても広く検討し、地権者の承諾を得られた箇所から順に設置していき、さらに町内の観光に資する場所を町内外に周知する。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	2,835	2,835	2,268	567	0
<pre> graph LR A[嘉手納町 2,835千円] --> B[工事請負費 2,835千円] B --> C[有限会社 古謝建設 2,835千円] subgraph Project [観光史跡等説明板整備工事] C end </pre>					

資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>工事請負業者は入札により選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>町内の指定文化財及び名所旧跡への説明板を設置しており、必要な工事請負費のみの支出であるため妥当であったと考える。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	嘉手納町
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1- 道の駅かでな機能拡充事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ
担当部課名	建設部 都市建設課	事業実施(予定)年度 平成25年度	圏域の特色を生かした産業の振興
		沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)

事業内容
嘉手納基地展望のため道の駅かでなに訪れる観光客の更なる誘客と施設内の物品販売所やイベント等へ誘導を図るため、施設前面にある県有地を購入し、道の駅かでなの施設機能強化に向けた整備を行った。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）	予算の状況					
	(a)当初予算額	221,660				
	(b)予算現額	158,665				
	(c)増減額(b-a)	62,995				
	(d)繰越額	0				
	A.計(b+d)	158,665				
	B.執行済額	158,663				
	うち交付金充当額	126,928				
	次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	用地買収のための不動産鑑定を当初2者に依頼予定であったが、当該用地が県有地であるため、県も独自で鑑定を依頼し、その平均値で土地の評価額を算出することとなったため不動産鑑定料が半額になった。また、当初購入予定の一部の土地が今後も継続して道路敷地として活用することとなったため、これまで同様県より無償で賃借することとなったため当初予算額より減額となった。					

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		用地取得	目標 () () () ()	実績 用地取得		
	目標 () () () ()	実績				
達成状況説明	道の駅かでな施設前面の土地を購入したことにより、今後の施設機能強化に向けた整備が行える。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		目標 () () () ()		3,079m ²		
		実績		2,893m ²		
		目標 () () () ()				
進捗状況説明	道の駅かでなの施設機能強化のための用地を取得したことにより、基本構想より抽出された施設の現状課題を解消する機能拡充事業を計画的に進めることができる。当初取得予定していた用地の中に、これまで同様道路用地として利用する面積が含まれていたため、その部分は今後も県より賃借することとなったため取得面積が減少となった。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	道の駅かでなでは、店舗面積の不足や運営のしくみの見直し、情報発信機能の不足などの現状課題がある。	道の駅かでなの現状課題を解決し、施設機能拡充を図るため、今後は具体的な拡充の基本・実施計画を策定し、県の観光振興と連動した受入体制の強化を図る必要がある。
	今後の取り組み方針	
<p>現状の課題を効果的に解決するため、効果的な拡充策を検討し、施設全体の有効的な機能強化を図る。基本計画の策定を行う。 平成26年度において、基本構想を踏まえた機能拡充のための基本・実施基本計画を策定していく。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	158,663	158,663	126,928	31,735	0
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;"> 嘉手納町 158,663千円 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin: 0 auto;"> 不動産鑑定料 471千円 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 200px; margin: 0 auto;"> 株式会社仲本不動産鑑定研究所 471千円 </div>	(用地にかかる不動産鑑定)		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin: 0 auto;"> 分筆委託料 499千円 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 200px; margin: 0 auto;"> 濱元朝輝土地家屋調査士事務所 499千円 </div>	(用地の分筆にかかる委託業務)		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin: 0 auto;"> 用地買収費 157,693千円 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 200px; margin: 0 auto;"> 沖縄県 157,693千円 </div>	(用地買収)		

資金の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	不動産鑑定業者及び分筆委託業者は、実績等を勘案し選定しており妥当であったと考えている。 用地買収費については、本町と沖縄県双方で不動産鑑定を依頼し、その平均値の単価で買収を行ったので妥当であると考えている。 必要最小限の用地を取得しているため、事業目的に即した用地の取得と考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

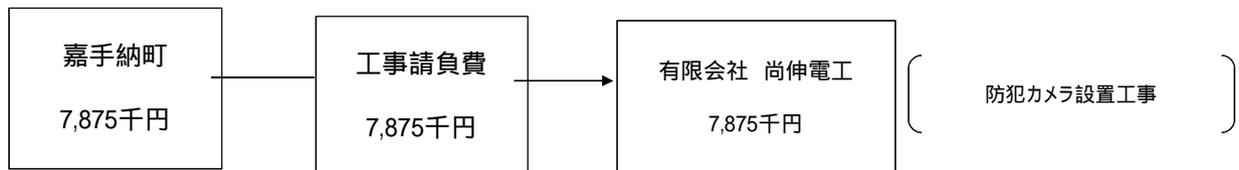
市町村名		嘉手納町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	観光施設安全対策推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ	
担当部課名	建設部 産業環境課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興		
事業内容	本町へ訪れた観光客が安全・安心に滞在できる観光地を形成するため、主要観光施設である道の駅かでなへ防犯カメラ、モニター、デジタルレコーダー等を設置し、防犯機能を強化する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)		7,875				
			7,875				
			0				
			0				
			7,875				
	B.執行済額		7,875				
	うち交付金充当額		6,300				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施し、予算においても事業計画どおり執行を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	訪れる観光客が安全・安心に滞在できる観光地の形成を図るため、防犯カメラを設置する。	目標		(防犯カメラ12台)	()	()	
		実績		防犯カメラ12台			
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	平成25年度内に防犯カメラを設置を完了している。カメラを設置したことにより、防犯の強化に寄与している。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	防犯カメラ12台 モニター1台 デジタルレコーダー1台を設置する。	目標	()	()	(防犯カメラ12台)	()	()
		実績			防犯カメラ12台		
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	防犯カメラ12台、モニター1台、デジタルレコーダー1台を設置した。24時間施設を監視し、犯罪の抑止に寄与している。今後は防犯カメラの設置・監視箇所を検証し、犯罪の抑制、減少に努めていく。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・事件が発生した時に警察の捜査への協力について迅速に対応するルール作り が必要である。 ・防犯カメラの管理基準を明確にし、運用していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察に情報を提供するために、ルール作りをするように取り組む。 ・防犯カメラ管理基準を作成し、運営するように取り組む。

今後の取り組み方針

- ・防犯カメラ管理基準を作成していく。
- ・録画データの提供に関してのルール作りをしていく。

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
7,875	7,875	6,300	1,575	0



資金の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負業者は入札により選定しており、妥当であったと考えている。 事業目的達成の観点から必要なものなのか等について書類により確認し、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	嘉手納町
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1- うたの日コンサート事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ
担当部課名	建設部 産業環境課	事業実施(予定)年度	平成25年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)

事業内容
 沖縄出身のトップアーティスト「BEGIN」が主体となって開催している「うたの日コンサート」における会場設営に係る経費の一部を補助し、同コンサートを誘致することで多くの観光客を誘客し、町の活性化を図る。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a)当初予算額	8,000				
	(b)予算現額	8,000				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	0				
	A.計(b+d)	8,000				
	B.執行済額	8,000				
	うち交付金充当額	6,400				
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	事業計画とおりに行われた				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度
		うたの日コンサート開催支援	目標 () 実績 ()	会場設営に係る経費の一部を補助 ()	()	()
達成状況説明	うたの日コンサートにかかる舞台施行費及び会場設営費の一部を補助し、コンサートを開催することができた。コンサートを開催し、県内外の多くの観光客が本町を訪れることで、町の魅力をアピールすることができた。					

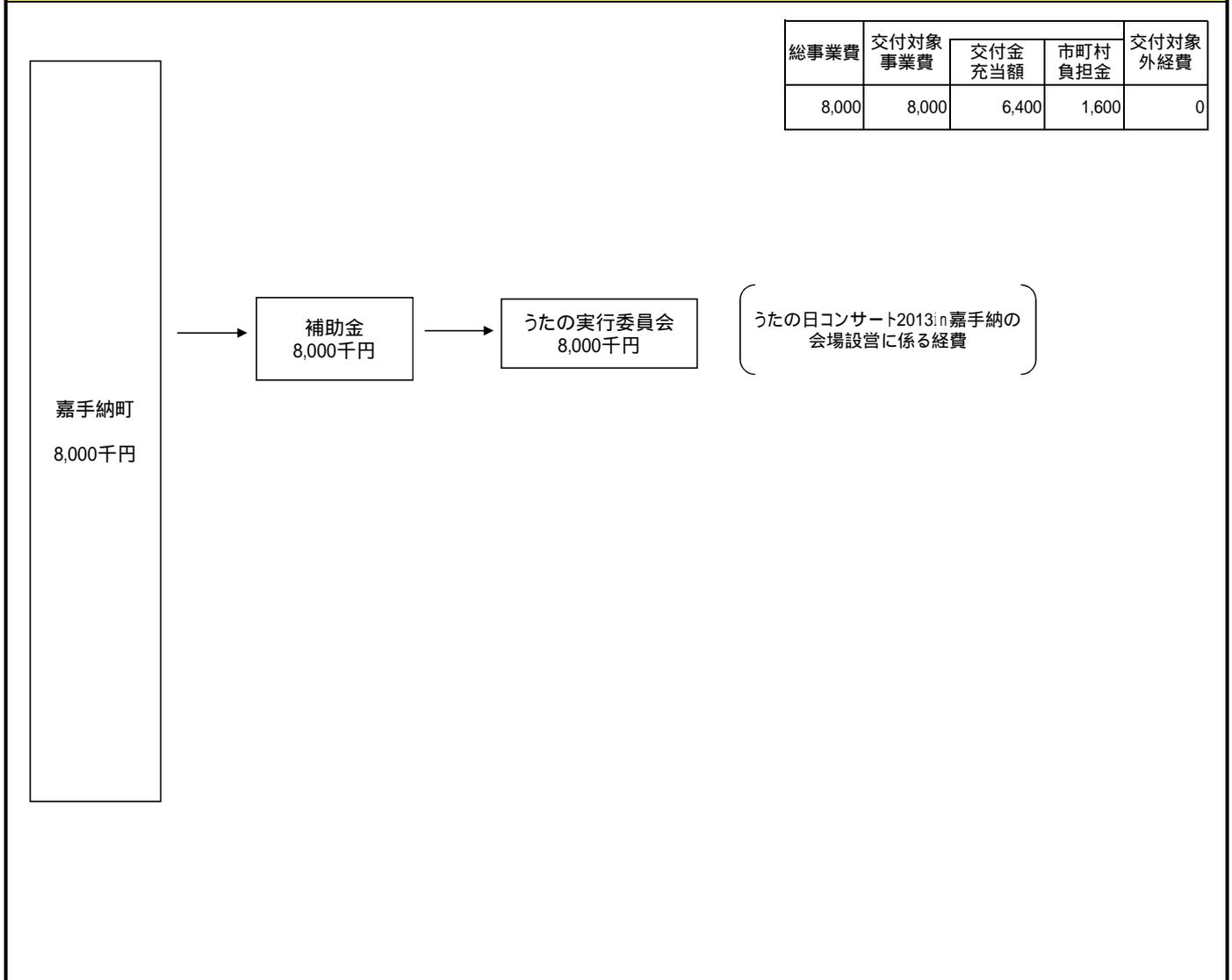
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
			目標 () 実績 ()	県外観光客:1,000人 特産品PR:5作品以上 町出店:5店舗以上	()	()	()
			実績 () 目標 ()	県外観光客:210人 特産品PR:6作品 町出店:9店舗	()	()	()
			進捗状況説明 ・ツアー客が210人と当初見込んでいた数には届かなかった。 ・出店は15ブース中9ブースを町商工業者が出店することができ、目標の5店舗を超えることができた。 ・町優良特産品を取り扱う店舗は3店舗出店し、計6作品の特産品をPRをすることができた。 ・うたの日コンサートを開催することで約8,000名の人々が本町を訪れ、コンサートをとおして多くの人に町の魅力を知ってもらうことができた。 今後も各種イベントをとおし町の魅力を発信していく。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	例年の実績から見込んだ集客数よりも実際はそこまで集客がなかった。原因としては、嘉手納町では同会場で大規模なコンサートイベントを実施した経験がなく、周知の遅れを招いた。また、交通機関との連携が不足していたため、イベント終了後の混雑の原因となった。	早期の周知徹底及び実施主催団体のコンサート内容の魅力充実を検討しなければならない。また、実施主催団体や交通機関との事務調整の強化及び運営の協力の充実を検討しなければならない。

今後の取り組み方針

推進上の問題等について実施主催団体と改善について協議を行い、今回の経験を生かし、今後のイベント開催において、早期の周知や運営の協力の充実を図り、より良いイベントの実施に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費目 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	費目・用途については額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であると判断した。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	屋良城跡公園総合再整備基本計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ	
担当部課名	建設部 都市建設課	事業実施（予定）年度	平成25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興 - 1 - (1)	
事業内容	<p>観光資源に乏しい本町においても、屋良城跡公園及び比謝川沿岸部等風情のある場所を有しており、近年では自然を生かしたエコツアーや川祭りの開催等観光源となりうる素材が増えつつある。 そのようなことから、城跡の名勝や比謝川の自然を体験してもらうことで、観光入域客数の増加や地域活性化を図り、魅力的な嘉手納町の形成を目指す。</p>						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		3,885				
			3,245				
			640				
			-				
		3,245					
	B. 執行済額	3,244					
	うち交付金充当額	2,595					
	次年度繰越額	0					
	執行率（％）(B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	不要額が640千円発生しているが、委託費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。						
活動目標（指標） 及び達成状況	H25活動目標（指標）	達成状況					
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	基本計画策定業務の実施	目標	（基本計画）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	基本計画検討				
	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
	実績						
達成状況説明	<p>現地調査等により公園現状の把握を行った。 ・利用ニーズ調査の為、アンケート調査を行った。 ・公園の問題・課題を整理し再整備の方向性を策定した。 上記のことを実施した結果、平成26年度に実施する基本計画の現況整理ができた。 基本計画は、2年スパンで策定していく。平成25年度においては現況把握や住民ニーズの把握等の基本計画策定のための基礎調査を実施した。</p>						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H25成果目標（指標）	基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）	
			（基本計画の策定）	（ ）	（ ）	（ ）	
	屋良城跡公園総合再整備基本計画の策定	目標	（ ）	（基本計画の策定）	（ ）	（ ）	
		実績		基本計画の策定			
〔参考指標〕	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
	実績						
進捗状況説明	<p>基礎調査を行うことで、公園の現状が把握できた。 ・アンケートを実施することで、利用者のニーズを把握することができた。 平成26年度は実施した基本計画（基礎調査）の結果を基に、基本計画の策定を行う。</p>						

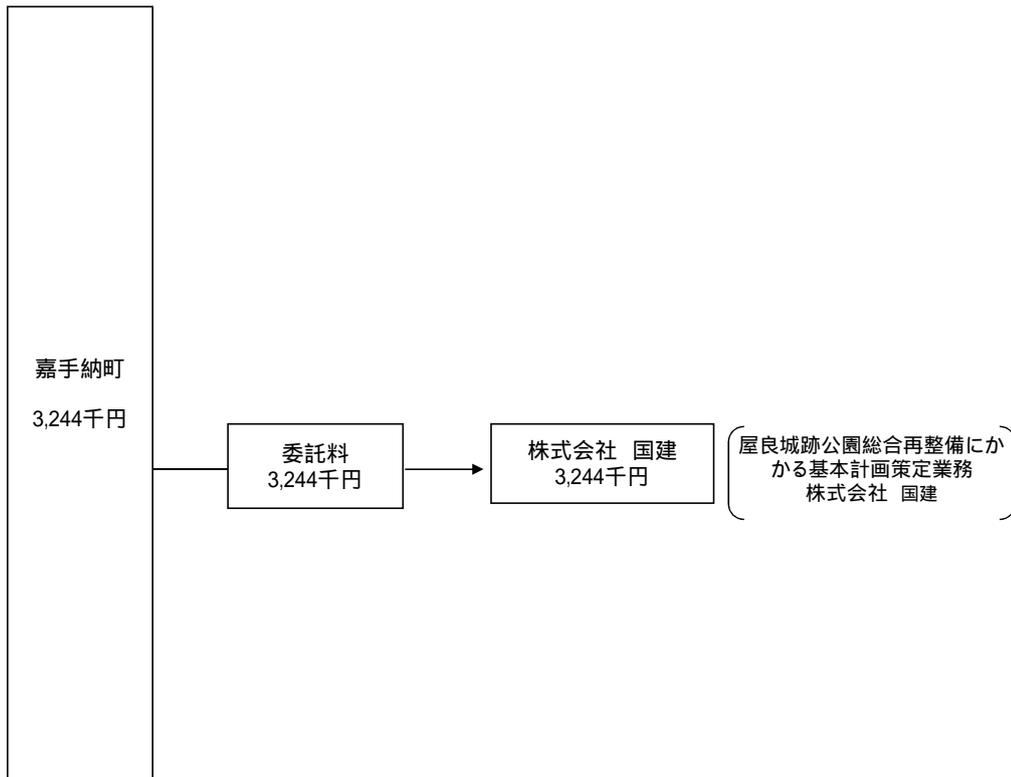
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>調査の結果、本公園は城跡に設置された公園であることから、再整備に対する意見は歴史的な見地からのものが多くあった。公園の歴史的価値を後世の者に伝えるためにも、公園整備の内容について文化財担当・有識者からの意見徴収を徹底して行う必要がある。</p>	<p>本公園は歴史的な背景を有する公園でもあることから、公園再整備に当たりさまざまな意見をききとり、整備内容へ反映させていかなければならない。その為にも、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財担当・有識者など関係者に対しヒアリングを行う。 ・庁内検討会を開催し教育文化関連部署・観光関連部署等関係部局との意見の集約を図る。 ・利用者ニーズを深めていく手法としてワークショップを開催する。 ・パブリックコメントを行う。

今後の取り組み方針

本公園は城跡に設置された公園であり、再整備に対する意見は歴史的見地からの者が多く内容も多岐にわたる。本公園の歴史的背景やその価値について後世の者に伝え、更に多くの人々に利用される華やかな公園として整備するため、ワークショップ・町内検討委員会・有識者検討委員会等に諮り多くの意見が反映された基本計画を策定する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
3,244	3,244	2,595	649	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>支出先の選定方法に関し、入札方法を指名競争入札により執行した。県内において公園基本構想及び基本計画策定業務の実績を有する業者を指名・競争入札を行ったことで、同等程度の実力のある業者による価格競争を促した結果、事業を遂行する能力及び経済性をも勘案した内容での発注となった。ゆえに、妥当であると判断している。</p> <p>費目・及び使徒に関し、本業務は現況調査の為、現地の調査・意向調査を主とすることで、成果目標である基本計画の策定の為に必要な事項を執行したと判断している。</p>
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	嘉手納町比謝川利活用基礎調査事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ	
担当部課名	総務部 企画財政課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興 -1-(1)		
事業内容	本町には、沖縄県本島で最大流域面積を持つ比謝川が流れており、湿生植物や野生鳥獣の生息地として自然環境が残っている。このような自然環境を活かし、遊歩道の延長や自然体験型の施設を整備することにより、観光地形成を図るため、比謝川流域の基礎調査を行った。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	6,919				
		(b)予算現額	6,615				
		(c)増減額(b-a)	304				
		(d)繰越額					
	A.計(b+d)		6,615				
	B.執行済額		6,615				
	うち交付金充当額		5,292				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		不要額が304千円発生しているが、委託費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	比謝川流域の基礎調査の実施	目標	(基礎調査実施)	()	()	()	
		実績	基礎調査実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	比謝川流域の現況把握や課題の整理、危険個所の抽出、今後の利活用に関する可能性の洗い出し(遊歩道の延長等)などの基礎調査を行った。そういった、比謝川流域を調査することにより、観光産業の資源発掘に寄与するとともに、今後の新たな事業立てに関する方向性を見出す礎となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	比謝川流域の基礎調査の実施(5km)	目標	()	(基礎調査実施)	()	()	()
		実績		基礎調査実施			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	比謝川流域の基礎調査を行うことにより、課題の整理や新たな観光資源の発掘、今後の比謝川を利活用した事業展開に関する方向性を見出すことができた。					

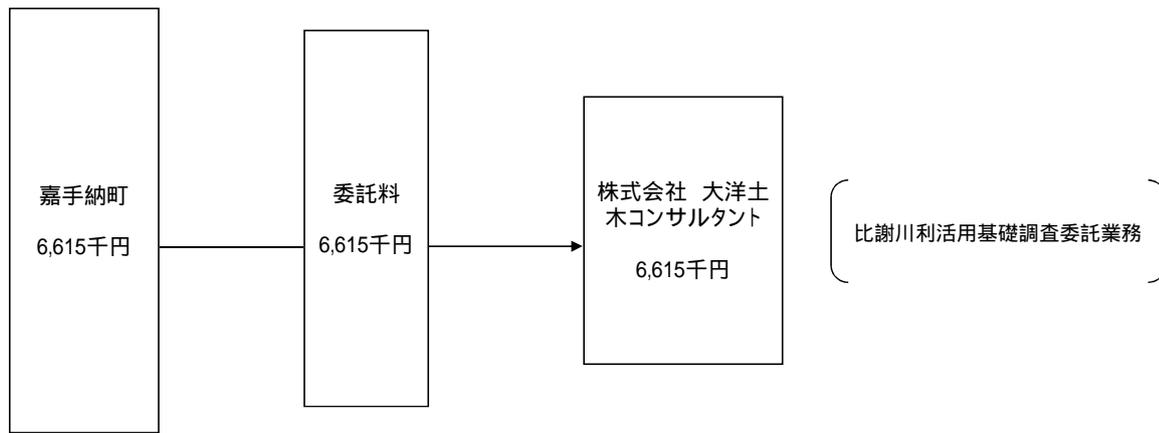
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今後の比謝川を利活用した事業を進めるにあたり、危険箇所を明確にすることや大雨時にてっぽう水の危険性が高いため、危険に対する安全確保などの課題がある。	危険箇所を明確化し、安全確保のための整備や管理のあり方を検討する。また、大雨時にはてっぽう水の危険勧告を行うなどの対策を検討する。

今後の取り組み方針

危険箇所を明確化し安全を確保しつつ、豊かな自然環境が残る比謝川流域を利活用した事業を展開していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,615	6,615	5,292	1,323	0



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明	
			支出先の選定方法は妥当か。	委託業者については、指名競争入札で実績等を考慮し選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については、比謝川利活用基礎調査を実施する上で、事業目的に沿った支出と判断するため適正であると考える。
			予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	嘉手納町
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1- 観光施設ICT整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ
担当部課名	建設部 産業環境課	事業実施(予定)年度 平成25年度	圏域の特色を生かした産業の振興
		沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)

事業内容
嘉手納町の観光情報を発信するため、観光拠点施設道の駅かでなより、情報発信を強化することで、町内全体の観光資源の活用と回遊性の向上を促進する。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	9,405				
	(b)予算現額	9,405				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	0				
	A.計(b+d)	9,405				
	B.執行済額	9,404				
	うち交付金充当額	7,523				
	次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	当初計画していた事業内容はすべて実施し、予算においても事業計画どおり執行を行った。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	27年度	28年度
		道の駅かでなにデジタルサイネージを導入する。	目標 (デジタルサイネージの設置)	()	()
	実績	デジタルサイネージの設置			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	デジタルサイネージを設置し、情報発信の強化に努めた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
		道の駅かでなにデジタルサイネージを導入する。	目標 ()	デジタルサイネージの設置	()	()
		実績	/	デジタルサイネージの設置		
	[参考指標]	目標	()	()	()	()
		実績	/			
進捗状況説明	デジタルサイネージを設置し、情報発信の強化を図った。今後は導入した機器を活用し、情報の充実に努め、町内全体の観光資源の活用と回遊性の向上を促進する情報発信を行う。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	情報の更新や新たな情報を追加する仕組みを作る必要がある。	情報の更新をするための手続き方法の作成や新たな情報を追加するための運営方法の作成に取り組む。
今後の取り組み方針		
情報の更新や新しい情報を追加するなどの運営に関する仕組みを構築する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	9,404	9,404	7,523	1,881	0
<pre> graph LR A[嘉手納町 9,404千円] --> B[委託料 9,404千円] B --> C[株式会社 ドリームアーツ沖縄 9,404千円] subgraph D [デジタルサイネージ導入委託業務] C end </pre>					

資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者はプロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であると考える。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	嘉手納町
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2 -	学習支援員配置事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 5 - (3) - ア
担当部課名	嘉手納町教育委員会	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24～29年度
			沖縄振興基本方針該当箇所	自ら学ぶ意欲を育む教育の充実 - 3 - (1)

事業内容
基礎学力向上対策の上で課題となっている算数・数学、国語、英語の基礎学力定着のため、チームティーチング、習熟度別授業、長期休業中の個別指導及び放課後の補習授業に必要な学習支援員を小・中学校へ配置した。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	2,631	10,544			
	(b)予算現額	2,631	10,416			
	(c)増減額(b-a)	0	128			
	(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)	2,631	10,416			
	B.執行済額	2,631	10,416			
	うち交付金充当額	2,000	8,000			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%			
	予算の状況の説明	学習支援員配置においては、本町内小学校に3名、中学校に1名配置し、予算においては、報酬と社会保険料をそれぞれ12ヶ月分執行している。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
学習支援員配置数 小学校:3人、中学校1人	目標	(小学校3人 中学校1人)	(小学校3人 中学校1人)	()	()
	実績	小学校3人 中学校1人	小学校3人 中学校1人		
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	小学校においては配置学年で単元テスト数値目標について概ね達成がなされ、県到達度調査においても県平均を上回っている。これは支援員が計画的に形成評価問題等を作成・準備することで効果的な学習指導にもつながっている。中学校においては担当教科において、県到達度調査で県平均を上回った。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			()	()	()	()	
	県到達度調査における国語算数正答率を各学年ともに県平均以上(小3)(小5)(中2)	目標	()	(県平均以上)	(県平均以上)	()	()
		実績		小3 × 小5 × 中2 ×	小3 × 小5 × 中2 ×		
【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
	実績						
進捗状況説明	小学校においては単元テストの数値目標の概ね達成、県到達度調査では県平均を上回ったことから、継続して指導・授業支援を推進していく。中学校においても担当教科で県到達度調査で県平均を上回っているが、他教科へも効果的の支援ができないか検討していく。						

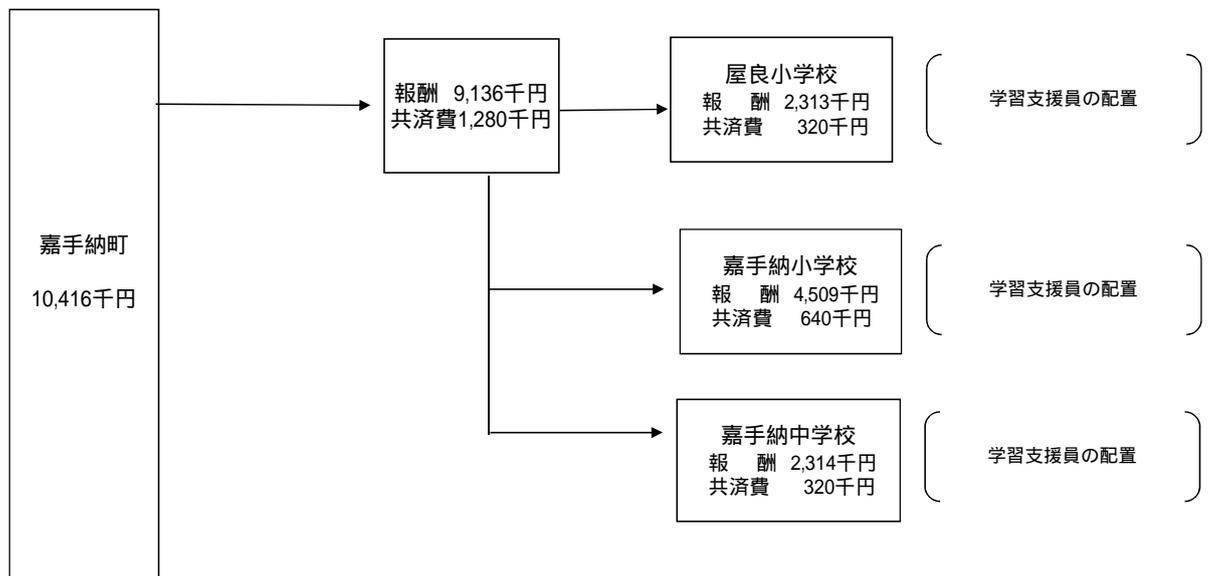
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	授業においてはT1、T2の関係で役割を明確化し支援にあたった。問題を解く時間には、分からない生徒への支援にあたるが、生徒のつぶやきを拾うことに細心の注意を払った。また、長期休業中の補習授業では参加した生徒が、分かる喜びを味わわせながら指導することを心がけた。しかし、個別に指導を要する児童生徒がいるため、より効果的な指導体制を構築する必要がある。	担任・教科担任との情報連携により、授業・指導前の教材の確認、指導後の状況を把握する。また、どれくらいの習熟程度の児童生徒を対象に指導するか、また教える内容によって指導法をどのようにするかといった指導体制を構築する。検証としては夏休み・放課後等の効果的補習指導体制の改善が見られたか。また、個別指導に係る具体的取組を施すことにより、児童生徒の授業参加への意識がどのように変化したかをアンケート形式で検証する。

今後の取り組み方針

- ・補習指導の体制作りを進める。
- ・諸調査問題野「結果から再指導を要する学習内容について全体的指導と個別指導で計画する。
- ・系統的指導を心がけ、下学年においての指導を充実させる。
- ・授業での役割を明確にし、計画的な学習支援を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,416	10,416	8,000	2,416	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	事業確定時において、支出等に関する書類について確認、適正であった。(報酬額は、嘉手納町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例施行規則による)
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 -	英語力強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 5 - (4) - ア	
担当部課名	嘉手納町教育委員会 教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築 - 3 - (1)	
事業内容	本町は平成22年度に教育課程特例校の認定を受け、英語教育に取り組んでいる。町立幼・小・中学校でネイティブスピーカーを活用し、日常的に英語に親しめる環境をつくる。さらに、本町の特例校としての特徴を生かすため、中学校に英語指導員を配置し、習熟に応じた学習個別支援を行い英語力の向上を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,982	13,741			
		(b)予算現額	2,982	12,775			
		(c)増減額(b-a)	0	966			
		(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)		2,982	12,775			
	B.執行済額		2,982	12,775			
	うち交付金充当額		2,300	9,665			
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		英会話指導員及び英語指導員配置においては、本町内小学校に3名、中学校に2名配置し、予算においては、報酬と社会保険料をそれぞれ12ヶ月分執行している。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	英会話指導員配置数 小学校:3人 中学校2人 英語指導員 中学校1人	目標	(小学校3人 中学校2人)	(小学校3人 中学校3人)	()	()	
		実績	小学校3人 中学校2人	小学校3人 中学校3人			
			目標	()	()	()	()
			実績				
達成状況説明	小学校では、英語によるゲーム・歌等をととして楽しみながら英会話に慣れ親しむことができた。中学校においては英検受検者・合格者が増加するなど実践的英会話力の向上が見られた。また、町主催の英語スピーチコンテストにむけて指導員による発音指導を行うなど、流暢な英会話力を身に付ける取組につながった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	英語検定3級以上の合格者数 50人	目標	()	(50人)	(50人)	()	()
		実績		35人	52人		
	〔参考指標〕		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	小学校では英会話に慣れ親しむ授業が定着している。今後は、小学校の低・中・高における身に付けさせたいフレーズや会話フレーズを設定し、計画的に英会話力を身につけられるようにする。中学校においては更に英検受検を推奨し実践的英会話力の向上を図る。					

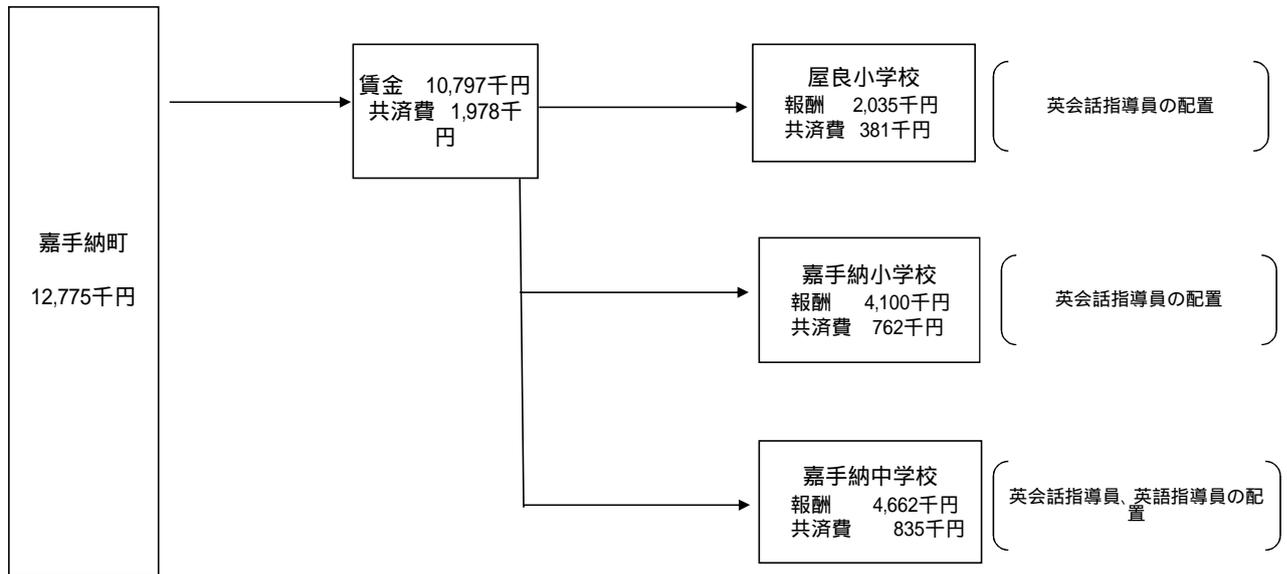
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	英語科・英会話科の授業において、担任と英会話指導員が連携しネイティブの指導員の発音を生かした指導を行った。授業では、買い物や道をたずねる場面等、生活場面を想定した中での英会話指導も行った。平成24年度の県到達度テストにおいては英語科の成績はすべて県平均を上回った。より実践的な英会話になるよう年間指導計画指導内容の充実を図る必要がある。	指導員の研修において、現指導計画の見直しを行い、生活で活用する場面を想定した実践的英会話内容を盛り込んでいく。 実践的英会話にかかる検証授業を行い、個々の指導力向上を図る。 実践的授業展開を図るための研修、検証授業の実施を行う。 児童生徒によるアンケートを実施を行い、英会話活動への意識変化を検証する。

今後の取り組み方針

・英会話年間指導計画の作成と各英会話指導員、英語指導員による検証授業を実施する。
・研修を実施し、教材の活用、適切なワークの導入、授業構成力の育成等、授業力の向上を推進する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,775	12,775	9,665	3,110	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	事業確定時において、支出等に関する書類について確認、適正であった。(報酬額は、嘉手納町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例施行規則による)
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	嘉手納町
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2 -	ICT活用事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア
担当部課名	嘉手納町教育委員会 教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24～29年度	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
			沖縄振興基本方針該当箇所	-3-(1)

事業内容 教科学習や総合的な学習の時間、特別活動の時間において教科担任と連携しパソコン指導にあたるとともに、ICTを活用した授業の促進と情報化時代に対応できる人材の育成を図る。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 ('交付金'+ '市町村負担' ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	1,773	7,891		
		(b)予算現額	1,773	7,891		
		(c)増減額(b-a)	0	0		
		(d)繰越額	-			
		A.計(b+d)	1,773	7,891		
	B.執行済額		1,773	7,891		
	うち交付金充当額		1,300	6,220		
	次年度繰越額		0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%		
	予算の状況の説明		パソコン指導員配置においては、本町内小学校に2名、中学校に1名配置し、予算においては、報酬と社会保険料をそれぞれ12ヶ月分執行している。また備品購入においても事業計画どおりに執行を行った。			

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		パソコン指導員配置数 小学校:2人 中学校1人	目標 (小学校2人 中学校1人)	(小学校2人 中学校1人)	()	()
	実績	小学校2人 中学校1人	小学校2人 中学校1人			
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	指導員を配置することで、PC教室の環境作りや活用機器等の準備を行い、担任等がスムーズに授業を展開することができる。また、担任と連携して教材準備、児童生徒の指導・補佐に当たることによって効率的な指導、スキルアップにつながっている。また、学校職員へのPC操作サポート等もおこない校務の効率化にもつながっている。					

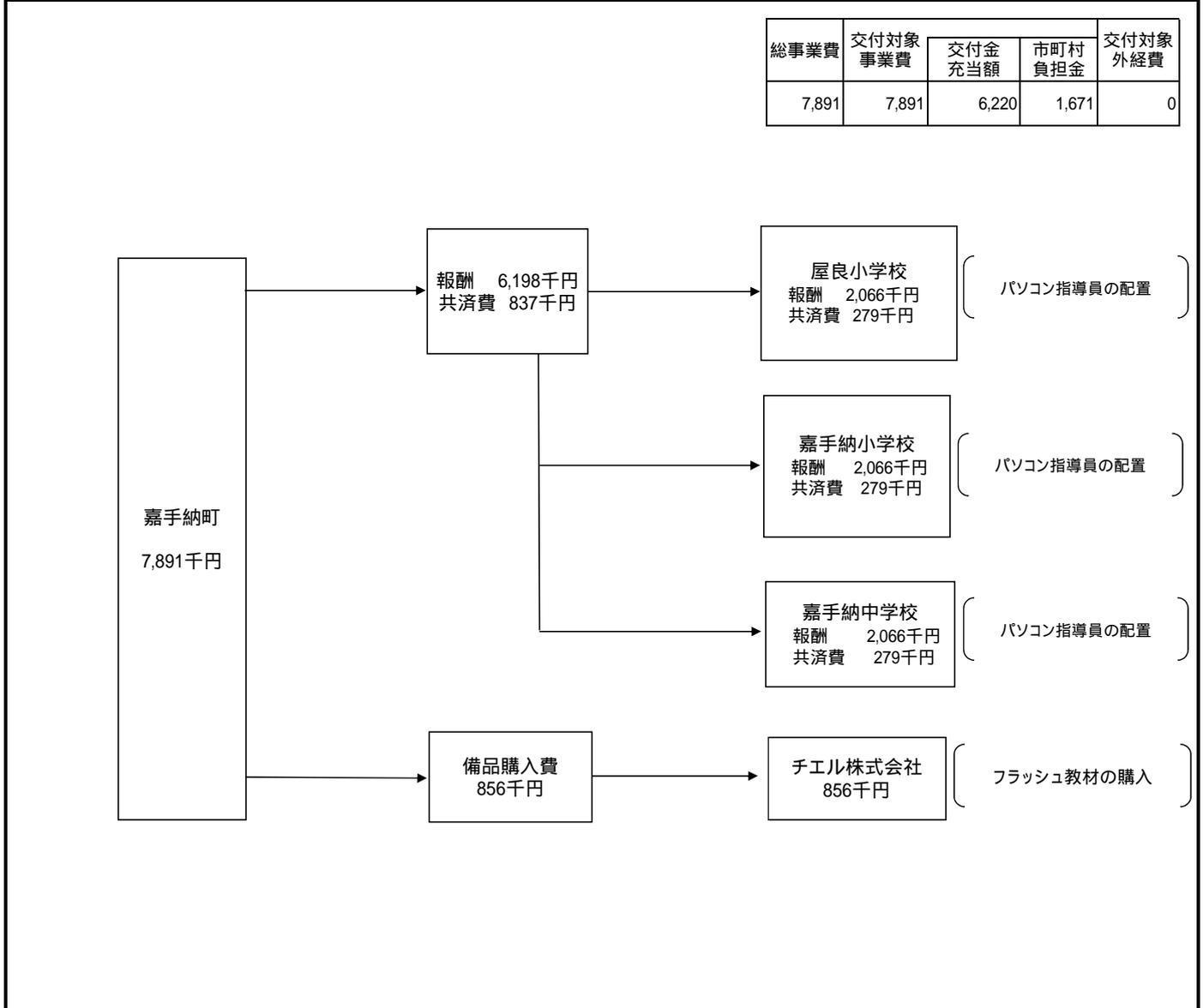
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)		
		(小学校)キーボード操作能力検定目標級の達成 3学年23級(80%以上) 4学年17級(60%以上) 5学年8級(40%以上) 6学年初段(20%以上) (中学校)パソコン検定目標級の達成 1・2年5～4級、 3年3級	目標	(小学校2人 中学校1人)	(小学校2人 中学校1人)	(小学校3学年23級(80%以上) 4学年17級(60%以上) 5学年8級(40%以上) 6学年初段(20%以上) 【中学校】 1・2学年 受検18名 内5級以上合格13名(72%) 3学年 受験9名 内3級以上合格7名(78%))	()	()
			実績					
[参考指標]	目標	()	()	()	()	()		
	実績							
進捗状況説明	小学校においては教科の調べ学習等によるPC活用の時数が多くなり、技能スキルアップに費やす時数が少なくなっている。目標設定の妥当性・確認をおこなうなど年間指導計画の見直しと充実を図る必要がある。中学校においてはパソコン検定受検を募り、より多くの合格者をたせるようにする。							

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	ICT支援員が担任や教科担当の授業補佐、授業支援をおこなうことで教育の情報化(児童生徒の情報活用能力の育成、学習指導におけるICT活用、校務の軽減)を推進しているが、以下の点で課題が見られる。 ア、事業の効果をどのような方法で検証するか。 イ、目標の設定は妥当であるか。 ウ、事業効果をあげるための情報収集や周知をどのように行うか。 エ、機器整備計画と連動した支援員の効率的な活用をどのように図るか。 があげられる。	情報教育指導計画への検討・位置づけを行う。 他教科・領域との関連を図り、目標設定が妥当かどうかの再検討を行う。 他地区の視察・情報交換を行い、効果的な取組に生かす。 教育における効果的機器活用のための支援体制を築く。

今後の取り組み方針

小学校においては、引き続きキーボード操作能力を高めるためにキーボード操作検定サイト(キーボー島)の各学年目標級を設定し、達成に向けての取組を行う。
 中学校においてはパソコン検定の目標級を設定し、合格率を向上させるような取組を図る。
 定期で学校の情報担当・ICT支援員の連絡会を開催し、授業補佐・授業支援の状況・キーボード操作検定サイトやパソコン検定の進捗状況を確認し、指導助言を行う。
 連絡会において整備計画等についての周知を行うとともに、新しい機器の操作や効果的活用について研修を実施する。
 効果についてはPDCAのサイクルによる視点で検証を行い、次年度にむけての事業取組へ反映させる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	事業確定時において、支出等に関する書類について確認、適正であった。(報酬額は、嘉手納町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例施行規則による)備品購入(オリジナル商品)については、随意契約(地方自治法施行令第167条の2第1項による)により支出先の選定、支出は適正であると考え。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 -	不登校対策生徒指導支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ	
担当部課名	嘉手納町教育委員会 教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	自ら学ぶ意欲を育む教育の充実 -3-(1)	
事業内容	継続的な支援活動及び支援体制を構築することで教育環境を充実させ、生徒の自己存在感を育み、基礎学力等の向上を図るとともに、個別指導や相談等を必要とする不登校生徒に対応するため、教職員を補佐する支援員を配置した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	848	3,094			
		(b)予算現額	848	2,461			
		(c)増減額(b-a)	0	633			
		(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)		848	2,461			
	B.執行済額		848	2,461			
	うち交付金充当額		640	1,940			
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		不登校対策生徒指導支援員配置においては、本町内中学校に2名配置し、予算においては、報酬と社会保険料をそれぞれ12ヶ月分と5ヶ月分執行している。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	生徒指導支援者配置数 中学校2人	目標	(中学校2人)	(中学校2人)	()	()	
		実績	中学校2人	中学校2人			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	平成24年度に比べ、平成25年度は不登校生徒の割合が減少した。学校の生徒指導体制の下、他職員と連携して対応に当たることにより、登校復帰した生徒もいた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	不登校生徒数を全生徒数の3.3%以下にする	目標	()	(3.3%以下)	(3.3%以下)	()	()
		実績		5.10%	4.00%		
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	登校時における声かけ・教室内外の巡回も継続して行う等、日頃から生徒とのコミュニケーションを図ることで不登校の早期発見・早期対応が期待できる。登校支援・家庭訪問を行ったものの、全ての不登校生徒への対応はできなかった。					

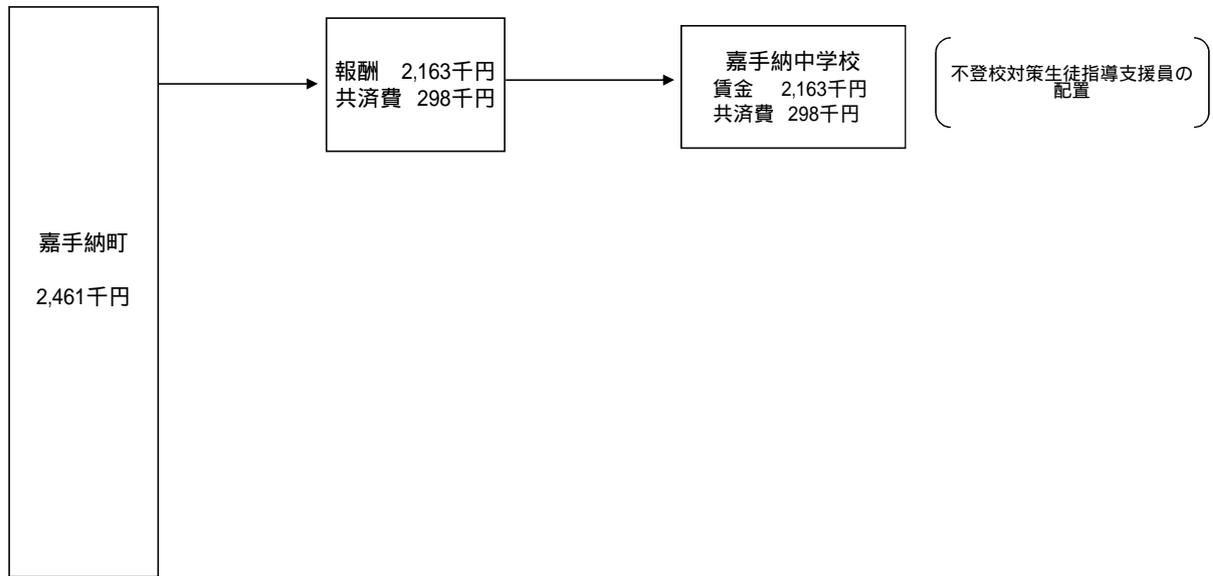
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	生徒指導支援員は非行・不登校、遊び型不登校に対応しているが、数が多い為に十分な対応ができていない。しかし、不登校生徒は小学校の頃から傾向があらわれるケースが多いため、小学校との情報連携を図るとともに、個別に対応したケース会議を開催することで、関係機関と早期につながるようにつなげるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 指導体制を確認し、対象となる生徒を絞って対応にあたる計画を作成し、対応状況の把握を行う。 小中学校の連絡会での情報共有をうけて各校どのように体制づくりを進めたかを集約する。 個別のケース会議で対応・協議した人数把握を行う。

今後の取り組み方針

- ・不登校生徒への段階的対応を進める。
- ・不登校生徒の小学校時、下学年時の情報を共有し、各関係機関(町子ども家庭課、町障害福祉課、児童相談、青少年センター等)へつなげる。
- ・心的ダメージのある生徒についてはカウンセラーとの連携を行う。
- ・不登校生徒、保護者への連携を図り、途絶えないようにする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,461	2,461	1,940	521	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	事業確定時において、支出等に関する書類について確認、適正であった。(嘉手納町臨時職員管理規定による)
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		嘉手納町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2 -	スクールカウンセラー活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ	
担当部課名	嘉手納町教育委員会 教育指導課	事業実施(予定)年度	平成25～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	自ら学ぶ意欲を育む教育の充実 -3-(1)	
事業内容	スクールカウンセラー(臨床心理士)を青少年センターへ配置し、心的要因を抱える児童生徒及びそだてに悩む保護者に対して専門的立場から相談を行う。また、教職員に対しても、発達障害のある児童生徒への対応、関わり型など研修を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,592				
		(b)予算現額	2,556				
		(c)増減額(b-a)	36				
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	2,556				
	B.執行済額		2,556				
	うち交付金充当額		2,000				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		スクールカウンセラーにおいては、本町内青少年センターに1名配置し、予算においては、報酬を12ヶ月分執行している。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	スクールカウンセラー配置数1人	目標	(1人)	()	()	()	
		実績	1人				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	不適応や困り感のある児童生徒への相談業務をおこなうことで、改善がみられる児童生徒がいた。また、定期で学校を訪問することでスクールカウンセラーへ相談できる体制が整い多くの児童生徒と関わることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	サポートした児童生徒の学校生活への適応や学校復帰等改善が確認できた人数:10人	目標	()	(10人)	()	()	()
		実績		3人			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	週3日、1日6時間の勤務野中で、適応教室指導員への助言、生徒への直接カウンセリングを行う。また、児童生徒や保護者の相談業務。教職員へは、発達障害等への対応について研修会を実施している。取組を継続することで不適応や困り感のある児童生徒の早期発見、早期対応が期待できる。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	相談のニーズが多く、十分に対応できない場面があった。	県派遣のスクールカウンセラーとの連携をはかることで、相談ニーズへ対応していく。 実態に応じた目標設定になっているかの検証が必要である。
今後の取り組み方針		
町スクールカウンセラーの各校対応を計画的におこない、相談が必要な児童生徒の早期発見・対応を図る。		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	2,556	2,556	2,000	556	0
<pre> graph LR A[嘉手納町 2,556千円] --> B[報酬 2,556千円] B --> C[青少年センター 報酬 2,556千円] subgraph D [スクールカウンセラーの配置] C end </pre>					

資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	事業確定時において、支出等に関する書類について確認、適正であった。(報酬額は、嘉手納町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例施行規則による)
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	嘉手納町
------	------

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-	戦災滅失戸籍沖縄関係書類電子化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-イ
担当部課名	福祉部町民保険課	事業実施(予定)年度	平成25年度	米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決
			沖縄振興基本方針該当箇所	- 12

事業内容
 当町の戸籍は第2次大戦により焼失したため、臨時戸籍・仮戸籍申告書・福岡戸籍が作成され、町の耐火金庫にて保管している。これらの書類は戸籍訂正等の際の根拠資料として現在でも交付しているが、紙の劣化が激しく長期保存に耐えないため、今後も国民の身分の公証資料として活用するために電子化する。また戸籍受付帳についても、紙の劣化が激しく150年の長期保存には耐えないため、早急に電子化を実施した。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	25,077				
	(b)予算現額	23,139				
	(c)増減額(b-a)	1,938				
	(d)繰越額					
	A.計(b+d)	23,139				
	B.執行済額	23,138				
	うち交付金充当額	18,511				
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	当初予算算定時には、戸籍書類の件数・枚数は概算であったため、実際に事業を執行していく過程で減額となった。事業内容については計画通りに実施しており、適正な予算執行ができた。				

活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度
		目標	(対象戸籍書類の電算化)	()	()	()
	実績	対象戸籍書類の電算化				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	仮戸籍:約1,917件 福岡戸籍:約222件 臨時戸籍:約2,313件 受付帳:約7,485枚の電子化を実施した。福岡戸籍については対象戸籍の範囲を再検討した結果減となった。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値	25年度	26年度	27年度	目標値
			(24年度)	(100%)	()	()	(年度)
	沖縄関係戸籍の電算化率:100%	目標	(0%)	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	紙媒体の劣化が激しかった沖縄関係戸籍について今回の電子化によって長期保存が可能となり安定的かつ適正な身分関係の公証が可能になった。また、電子化によって迅速かつ正確に照会や証明発行に応じることができるようになった。						

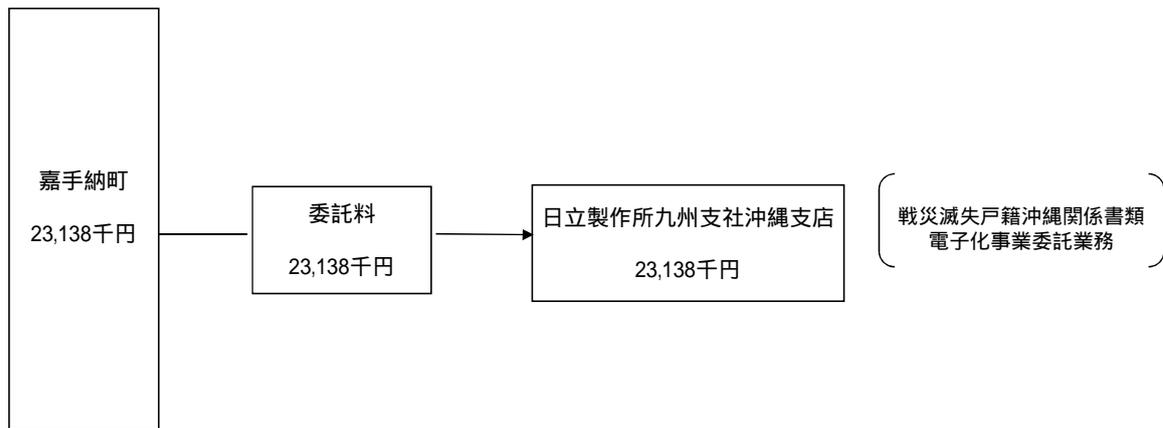
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	電子化が必要とされた沖縄関係戸籍を予定通り適正に処理した。電子化により迅速かつ正確に照会・証明発行が可能となった上、戸籍システムとの連動により沖縄関係戸籍から本戸籍への関連づけも可能となり利便性も向上した。以上のことより留意点はないものとする。	沖縄関係戸籍の電子化は予定通り終了しており期待された成果も左記のとおり達成できたため問題・課題も特に見当たりません。

今後の取り組み方針

沖縄関係戸籍について安定的かつ適正に身分関係の公証が可能となった。今後は、証明書類として有効に活用する一方、データの適正管理にも努め、更なる行政サービスの向上につなげていきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
23,138	23,138	18,511	4,627	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者との契約は随意契約としたが、これは沖縄戸籍の電子化に必要な専門的知識と技術の有無、戸籍システムからのデータ抽出及び効率的な活用の可否を勘案した上のもので妥当と考える。(地方自治法施行令第167条の2第1項第2号による)
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模・事業内容については他市町村の事例と比べて相応であり、費用・用途についても事業目的達成の観点から必要なものであり、その支出も関係書類の確認から適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4 -	雇用促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (10) - ア	
担当部課名	建設部 産業環境課	事業実施（予定）年度	平成25～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	雇用対策と多様な人材の確保 - 2	
事業内容	全国に比べ失業率の高い沖縄において雇用情勢の改善を図るため、就職相談窓口を開設する。就職相談窓口により求人・求職者を結び就労支援を行い、求職者へ就職意識の高揚と事業者の雇用拡大に繋げていく。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		3,633				
			3,633				
			0				
			0				
			3,633				
		B. 執行済額	3,632				
		うち交付金充当額	2,905				
		次年度繰越額					
		執行率（％）(B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	当初計画していた事業内容はすべて実施し、予算においても事業計画どおり執行を行った。					
活動目標（指標）及び達成状況	H25活動目標（指標）		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	相談窓口の開設	目標	(99回)	()	()	()	
		実績	99回				
	セミナーの開催	目標	(49回)	()	()	()	
実績		49回					
達成状況説明	相談窓口を99回開設し、また『応募書類の書き方講座』および『面接対策セミナー』など就職に役立つ講座を49回を開催した。これによって、求職者への就業に関する教育等が図られ、就業促進に結びつくことができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H25成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
	相談人数：200人 相談窓口開設数：99回 セミナー：49回 就職人数：30人	目標	()	()	()	()	()
		実績	/	相談人数：185人 相談窓口開設数：99回 セミナー：49回 就職人数：23人			
	〔参考指標〕		目標	()	()	()	()
			実績	/			
進捗状況説明	相談人数及び就職人数の数値は目標には達しなかった。理由としては、町内外への周知不足や求人側と求職側のニーズの不一致などが考えられる。 相談窓口及びセミナーは予定していた回数全て開設開催することができた。 引き続き相談窓口の設置とセミナーの開催を行う。						

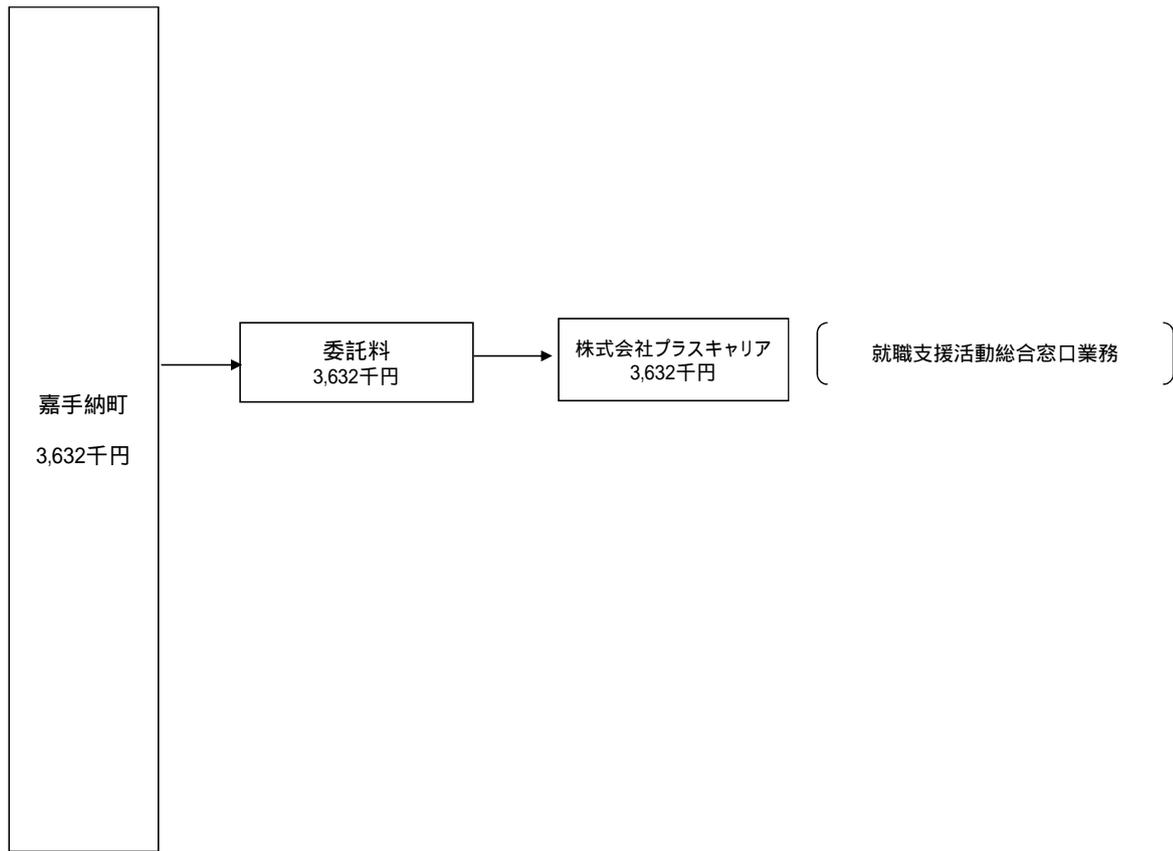
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	相談人数が目標には届かなかった理由としては、町内及び町外への周知が不足していたと考える。 また、就職人数が目標に達しなかった理由としては、求人側と求職側とのニーズが一致しないこと、需要の高い業種への求人数の不足が考えられる。	周知方法については、事業内容を町内外へ広く周知するために町ホームページへの掲載や、人が集まる主要施設へチラシの掲示など検討していく。 また、求職者のニーズを把握するため、後追い調査を行う。

今後の取り組み方針

相談者数、セミナー受講者数を増やすため、町ホームページへセミナー情報を掲載する、町内外の人が集まる主要施設にチラシを掲示するなど、周知方法を強化する。また、後追い調査を強化し、求職者のニーズの収集を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,632	3,632	2,905	727	0



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	随意契約を行った理由は、平成24年度同事業を試験的に行った際に、相談の内容には引き続き支援しなければならぬ相談や相談者が相談員を指定する相談などがあり、相談員が変わってしまうと支援に影響が出ると判断したため競争に付することが不利と考えた。また、価格の妥当性を確認した結果、最低価格だったため妥当だと考えている。(地方自治法施行令第167条の2第1項第6号に基づく)
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		嘉手納町					
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5 - 墓地基本計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(6)-ア		
	担当部課名	建設部 産業環境課	事業実施(予定)年度	平成25～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域特性に応じた生活基盤の充実・強化 - 12
事業内容	嘉手納町全域(米軍基地を除く)を対象として、町内に立地する墓地の状況や住民意向を把握し、墓地の集約や適正配置に関する計画を策定するため、基礎調査を行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	4,771				
		(b)予算現額	4,717				
		(c)増減額(b-a)	54				
		(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)		4,717				
	B.執行済額		4,515				
	うち交付金充当額		3,612				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		95.7%				
予算の状況の説明		当初の予定の事業内容である基礎資料の整理(住民意向調査、墓地の現状調査、上位関連計画との整理、基本計画策定の整理等)は予算の範囲内ですべて実施された。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	基礎資料の整理 上位関連計画の整理 墓地の現状調査 住民意向調査(アンケート) 課題の整理	目標	基礎資料の整理 上位関連計画の整理 墓地の現状調査 住民意向調査(アンケート) 課題の整理 () () () ()				
		実績	基礎資料の整理(実施) 上位関連計画の整理(実施) 墓地の現状調査(実施) 住民意向調査(アンケート)(実施) 課題の整理(実施)				
			目標	() () () ()			
			実績				
達成状況説明	墓地整備基本計画の策定に向けて町内の墓地の実態調査や住民意向調査等を行い、報告書及び墓地台帳を作成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	墓地整備基本計画策定に向けての基本調査の実施	目標	()	(基本調査)	()	()	()
		実績		基本調査			
	[参考指標]		目標	() () () ()			
			実績				
進捗状況説明	活動目標である墓地の実態調査等は25年度で実施済み。平成26年度において、検討委員会を立ち上げ、住民説明会を開催し墓地整備基本計画を策定する。						

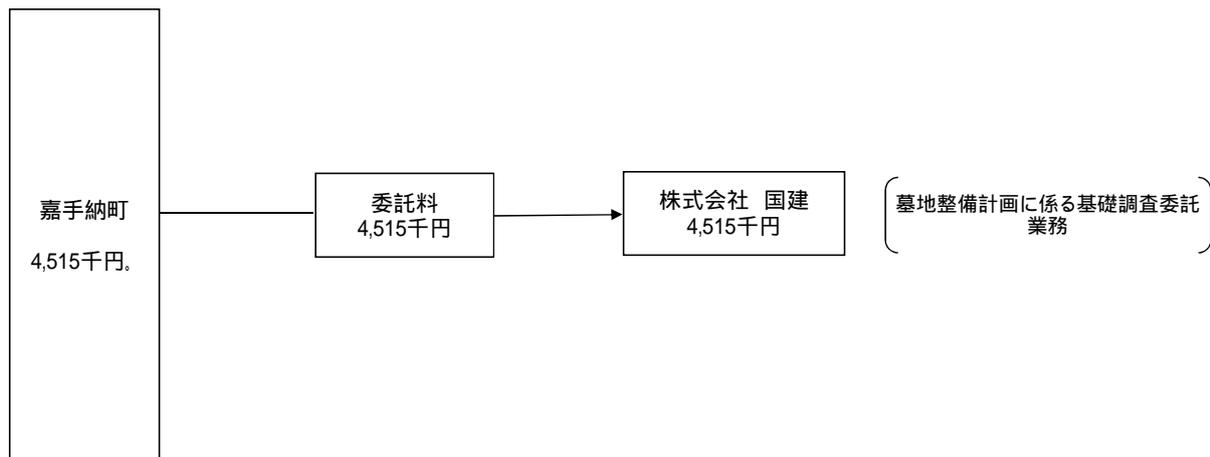
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	墓地の基礎調査の結果、嘉手納町の墓地が居住地域に隣接している状況が鮮明になってきたことから、居住地域内に点在する墓地を整理していく必要がある。	墓地基本計画策定において、点在する墓地の集約方法、町の管理する霊園の拡張、集団墓地(納骨堂等)の建設等を検討していく。

今後の取り組み方針

町内の墓地の実態調査や住民意向調査等を行い、報告書及び墓地台帳を作成した。今後の取り組みについてはこの基礎調査の報告を踏まえた上で、平成26年度に策定を行う墓地整備基本計画の中において、墓地集約のために嘉手納町の管理する霊園の拡張及び集団墓地(納骨堂)の建設が可能なかを検討していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,515	4,515	3,612	903	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は、指名入札で企業組織、実績知識等を勘案して選定しており、作成された報告書、墓地台帳ともに整備されており、予算額としても妥当である。また、費目、使途もその目的に沿ったもので妥当である。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	嘉手納町						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6 -	廃棄物リサイクル事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-ア	
担当部課名	建設部 産業環境課	事業実施(予定)年度	平成25～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	持続可能な循環型社会の構築	
事業内容	本町では、一般家庭及び事業者から年間約600トン程度の木くず等(草、剪定枝)が排出されており、また、台風等での公園、街路樹の倒木処理は産業廃棄物として最終処分場で処理をしている状況である。一方、町で策定している一般廃棄物基本計画において、木くず等を焼却せずチップ化し、再資源化することで町内の土地づくりや堆肥に利活用する施策があり、これらの木くず等の再資源化を実施し、本計画の推進を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	16,072				
		(b)予算現額	16,072				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	16,072				
	B.執行済額		16,072				
	うち交付金充当額		12,857				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初の予定の事業内容である一般廃棄物処理計画の推進における草木の回収、粉碎はすべて順調に実施された。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	嘉手納町一般廃棄物処理基本計画の推進 不適正処理(不法投棄)等の是正 木くずの再資源化	目標	嘉手納町一般廃棄物処理基本計画の推進(不適正処理(不法投棄)等の是正 木くずの再資源化)	()	()	()	()
		実績	嘉手納町一般廃棄物処理基本計画の推進(実施) 不適正処理(不法投棄)等の是正(実施) 木くずの再資源化(チップ化実施)				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	適性に実施できている。一般廃棄物処理推進計画の中で記載されている草木の回収、チップ化に関して平成24年度の搬入量は370,260kgに対して平成25年度は、140,710kgとなっており、約60%の大幅な減となっている。不法投棄については、発生するたびに処理をしている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	一般廃棄物の減量化(目標約5%削減) 処理費の節減	目標	()	一般廃棄物 約5%削減	()	()	()
		実績		草木の搬入量 (60%減)			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	一般廃棄物の減量化について、特に問題であったのは草木の回収であり、以前は焼却をしている状況であったが、チップ化することにより処理費の節減にもつながっている。					

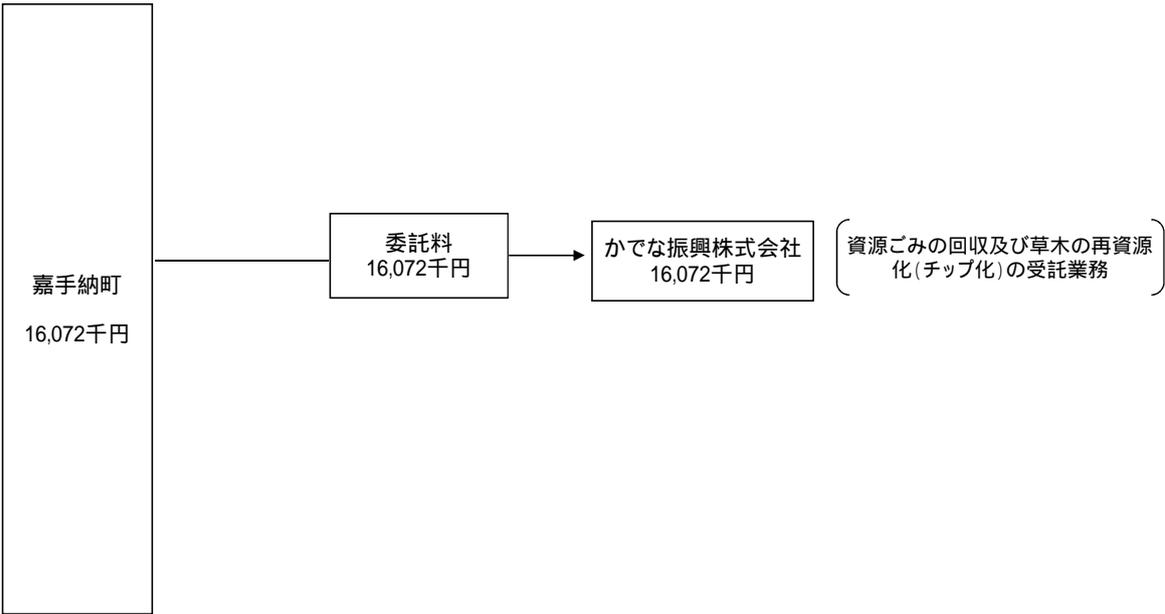
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	活動目標の実施は確実に行われていて、草木の搬入は大幅に減っている。チップも住民や農家に無料配布されている。しかしながら今後の課題としてチップ化された草木の需要と供給にバランスがとれていない状況である。	今後、草木の回収及びチップ化をより一層推進し、住民に対し、周知徹底と啓発を図っていく。また、草木のチップの需要量を増加させるための再資源化を検討していく。

今後の取り組み方針

粉碎した草木(チップ)の利活用、再資源化の実現可能性を検討していく。同時に一般廃棄物の減量化にも取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
16,072	16,072	12,857	3,215	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明	
			支出先の選定方法は妥当か。	委託業者は、随意契約であるが、長年本町のごみ回収業務を行っており、経年の処理技術及びデータを持っており組織、実績、知識等を勘案して妥当である。費用・使途についても目標達成に必要なものなのか等について額の確定時において支出等の書類で確認。適正である。(地方自治法第167条の2第1項第2号による随意契約)
			予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	嘉手納町						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7 -	避難施設防災強化整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 2 - (4) - イ	
担当部課名	総務部 総務課	事業実施(予定)年度	平成25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	社会リスクセーフティネットの確立 - 10 - (2)	
事業内容	嘉手納町内の防災・減災の強化の実現に向けて、避難所(災害時要援護者優先施設)や防災保管施設(道の駅かでな)などにおいて、防災機能強化として、非常食料の備蓄、生活必需品の備蓄、避難所設置応急対策備品の確保を図り、避難所の防災機能を強化した。合わせて、保管用の備蓄倉庫を設置した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	40,000				
		(b)予算現額	40,000				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	40,000				
	B.執行済額	39,590					
	うち交付金充当額	31,600					
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	99.0%					
予算の状況の説明	嘉手納町の防災・減災に向けて備蓄倉庫を設置し必要最低限の備蓄品の充実を図った。当初計画していた事業内容はすべて実施し、執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	災害時要援護者優先施設を中心に9か所避難所へ備蓄品等の配置	目標	(9か所備蓄品配置)	()	()	()	
		実績	9か所備蓄品配置				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	当初計画していた事業内容はすべて実施した。防災危機強化や非常食料・生活必需品の備蓄、避難所設置応急対策備品の充実が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	災害時要援護者優先施設を中心に9か所避難場所へ備蓄品等の配置(平成25年度で全避難所の40%配置完了)	目標	()	(9か所備蓄品配置)	()	()	()
		実績		9か所備蓄品配置			
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	当初計画していた事業内容はすべて実施した。避難所の機能や非常食料・生活必需品の備蓄、避難所設置応急対策備品の充実が図られ、今後全避難所施設等に備蓄品を配置し、防災の強化に努める。					

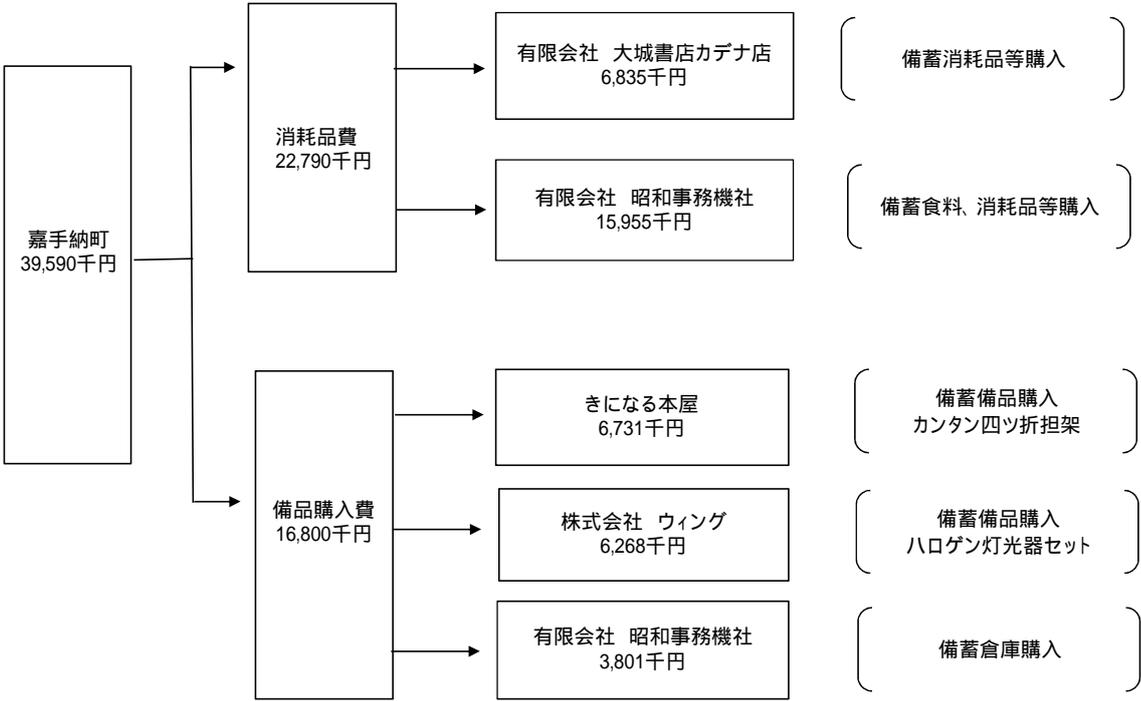
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	嘉手納町内の防災・減災の強化に向けて、今回整備した避難所設置応急対策備品などを災害時にスムーズに活用できるよう防災訓練を実施していく必要がある。	嘉手納町内の防災・減災の強化に向けて、有事の際に整備した備品・消耗品等を活用できるよう、テントの設営・発電機等の使用法など実践的な防災訓練を実施していく。

今後の取り組み方針

嘉手納町内の防災・減災の強化に向けて、テントの設営・発電機等の使用法や食料品の有効利用を図り、実践的な防災訓練を実施していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
39,590	39,590	31,600	7,990	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名競争方式により選定しており、妥当であると考えます。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模については、複数社から見積をもらい決定しており適正であると考えています。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	費目・使途については事業目的の観点から必要か等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	嘉手納町						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7 -	防災啓発事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 2 - (4) - イ	
担当部課名	総務部 総務課		平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所		社会リスクセーフティネットの確立 - 10 - (2)	
事業内容	嘉手納町内の防災・減災の強化の実現に向けて、海拔表示を海拔の低い地域を中心に、道路に設置されている電力柱、NTT柱信号柱及び現認性高い場所へ掲示した。合わせて、ハザードマップの情報や避難場所等が掲載されている減災リーフレットを作成し、一般町民、児童生徒、来庁者へ配布した。						
実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()		
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	10,000				
		(b)予算現額	14,973				
		(c)増減額(b-a)	4,973				
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	14,973				
	B.執行済額	14,973					
	うち交付金充当額	8,968					
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	当初計画していた事業内容はすべて実施し、予算については100%執行した。予算の増額について、減災リーフレットにおいて、当初予定していた日本語版に加え、英語版も追加作成したことによる。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	海拔表示版設置	目標	(80箇所)	()	()	()	
		実績	80箇所				
	減災リーフレット作成	目標	(10,000部)	()	()	()	
		実績	18,000部				
達成状況説明	当初計画していた事業内容はすべて実施した。災害がおこった場合、地域住民・観光客等に海拔表示版設置により高い海拔地域への移動、又、減災リーフレットを作成したことにより近い避難場所へ移動が可能となる。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	海拔表示版設置	目標	()	(80箇所)	()	()	()
		実績		80箇所			
	減災リーフレット配付	目標	()	(10,000部)	()	()	()
		実績		10,000部			
	進捗状況説明	当初計画していた事業内容はすべて実施した。残りの8,000部については、道の駅を中心とした観光施設等への更新配布用としてストックする。海外からの観光客にも対応するため、減災リーフレットについては、当初予定していた日本語版に加え、英語版も追加作成したことにより増となった。今後は、英語版以外の減災リーフレット作成について検討する。					

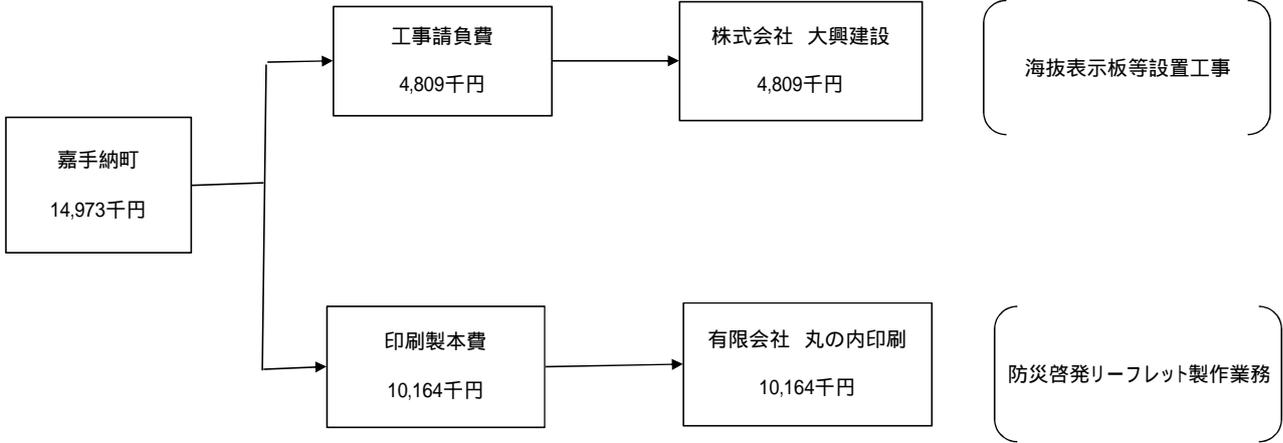
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>防災マップや海拔表示は、東北大震災以降住民がいつも危惧している状況で不安に思っている。避難場所や道路に設置されている電力柱・NTT柱・信号柱及び視認性の高い場所へ掲示することにより地域住民や観光客等にとって津波の発生による避難時の目安となる。</p> <p>表示板の設置について、道路管理者及び施設管理者(電柱)の許可を得るのに時間を要した。</p> <p>減災リーフレットにおいて、日本語、英語が通じない町内在住者や来町者に対しても周知する必要がある。</p>	<p>防災マップや海拔表示は各地域の災害時避難経路や観光客等に周知するために必要不可欠である。嘉手納町地域防災計画見直しの中で、新たな避難場所等の追加、避難行動要支援者名簿等の検討材料として、資料の提供を行う。</p> <p>道路管理者及び施設管理者より設置の許可を得るために早い段階から交渉を行う。</p> <p>英語圏以外の言語の減災リーフレットの作成を検討し、対応する必要がある。</p>

今後の取り組み方針

平成26年度に行う嘉手納町地域防災計画見直し策定の中で、「災害対策基本法の改正に伴う地域防災計画策定」(項目の追加)「避難マニュアルの作成(災害種別)」「避難所運営マニュアルの作成」の資料とする。又、英語圏以外の防災マップの対応に取り組む必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
14,973	14,973	8,968	6,005	0



資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名競争方式により選定しており、妥当であると考えます。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模については、複数社から見積をもらい決定しており適正であると考えています。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	嘉手納町						
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8 -	沖縄フェスティバルinハワイ派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (4) - 工	
担当部課名	教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 - 3 - (2)		
事業内容	継承者が減少している状況にある民俗芸能を広く公開し、その鑑賞を通して民俗芸能への理解と認識を深め、貴重な文化遺産としての保存、伝承を図る。町指定の無形文化財である千原エイサーを沖縄の伝統文化の継承及び推進を目的としてハワイで開催されるフェスティバルへ派遣し、当会場で演舞を披露することにより、本町の歴史ある伝統文化の魅力を多くの方に体感してもらう。また、県人会会員が最も多いハワイにおいて移住者と交流を深めることで文化振興の場を広げる。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,150				
		(b)予算現額	5,138				
		(c)増減額(b-a)	12				
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	5,138				
	B.執行済額		5,137				
	うち交付金充当額		4,109				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・事業計画どおり執行を行った。 ・不要額が12千円発生しているが、入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	ハワイ公演回数3回	目標	(3回)	()	()	()	
		実績	3回				
	公演参加者数	目標	(25名)	()	()	()	
		実績	28名				
達成状況説明	・フェスティバルの舞台では2日連続で出演し、舞台以外でも演舞している。また、初日の演舞を検討し、2日目は隊形などを変更し、よりよいパフォーマンスを披露することができた。 ・フェスティバル来場者とも交流し、エイサー(太鼓の持ち方等)を指導した。 ・エイサー以外にも、フェスティバルフィナーレにあるカチャーシーも担当し会場を盛り上げた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・町内イベントへの参加 ・派遣報告会の開催	目標	()	イベント参加2回 報告会開催1回	()	()	()
		実績		イベント参加2回 報告会開催1回			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	・フェスティバルでの活動を記録したDVDを作成 ・報告書(レポート)の作成 ・町以外でのイベントにも積極的に参加する意欲 ・千原エイサー事務所で、報告会を開催						

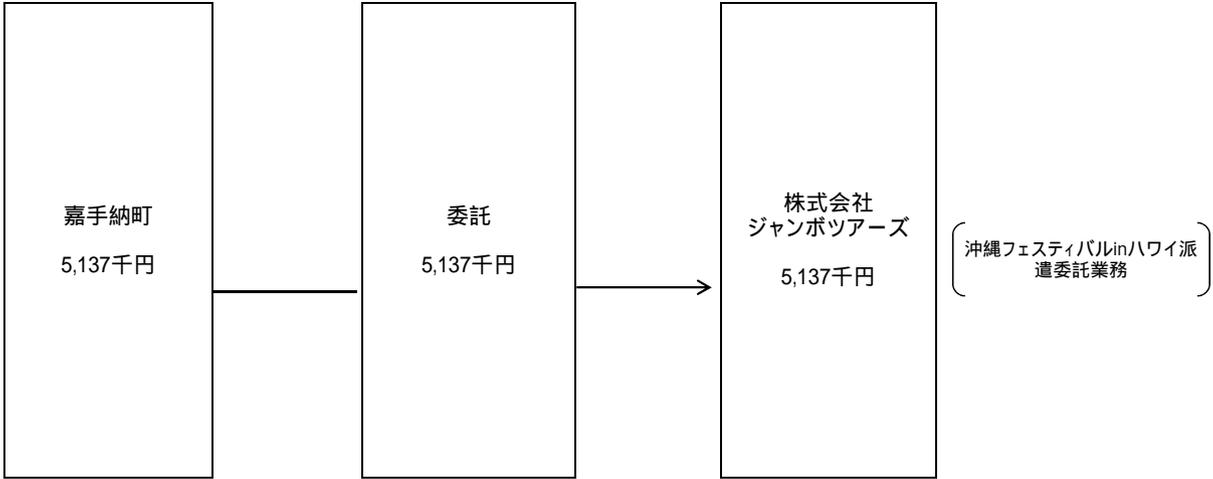
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・フェスティバル以外でも、盆踊り会や町人会の歓迎会など、交流をもつ機会があったが、情報が得られず機会をのがした。 ・フェスティバルに参加したことで、すぐに継承者が増えるわけではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに継承者が増えるわけではないが、派遣された方は、フェスティバルでの実績が自信となり、活動が意欲的になっている。 ・無形文化財の保存団体間での情報交換をし、継承者確保方法について検討する。 ・事前(派遣前)に町人会等との連絡を取り合い、スケジュールの確認を行う。

今後の取り組み方針

・町内だけのイベントにかぎらず、発表の場を増やしていくことにより、無形文化財保存団体の活動の活性化を図る。また、無形文化財保存団体間での情報交換を行い、伝統芸能の継承、保存について、改善策を検討する。
 ・ハワイの町人会等との連絡を、密にとり、交流を図る。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,137	5,137	4,109	1,028	0



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 流 れ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
			支出先の選定方法は妥当か。	入札により委託業者を選定している。宿泊先も、フェスティバル会場に近い場所で、徒歩で参加できるようにした。予算規模については、フェスティバルに必要な最小の人数を対象として支出しているため適正と考える。
			予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		